

＼ 令和7年7月更新 ／



ひろしまエルモ

LMO

広島型地域運営組織 「ひろしまLMO」 の取組等について

【この事例集に関する問合せ先】

広島市社会福祉協議会
地域福祉推進課地域連携支援担当

【Local Cooperation Supporters】

☎ 082-236-6175

✉ renkei@shakyohiroshima-city.or.jp

1 ひろしまLMOとは

エルモ

広島型地域運営組織「ひろしまLMO」

だれが
地区・学区社会福祉協議会や連合
町内会・自治会等を中心に、地域の
実情に応じて、地域団体やNPO、
企業等がメンバーとなり、

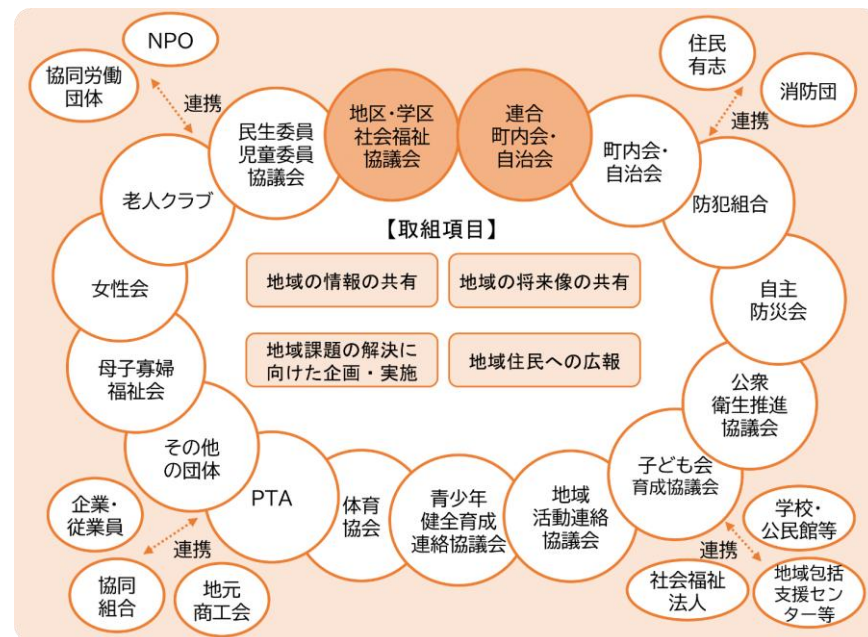
どこで
おおむね小学校区を活動範囲として、

だれに
小学校区内の全ての住民を対象に、

なにを
多様な主体と連携し、地域課題の
解決に向けた活動を行い、地域主体
の持続可能なまちづくりを目指します。

“Local Management Organization”

《ひろしまLMOのイメージ》



※ 構成・連携するメンバーは地域の実情に応じて決定

2 ひろしまLMOに期待される効果

【地域コミュニティの課題】

ひろしまLMO

地域団体間の
連携・協力が不足

- ・ 縦割り組織⇒横ぐし組織
- ・ 人材、ノウハウ、拠点の共有
- ・ 事業・行事の連携実施 など

組織の活性化、活動
の効率化
単一団体では困難な
取組の実施

地域活動に携わ
る担い手が不足

- ・ 若い世代のアイデアの活用
- ・ 若い世代や多世代を対象とした
取組の実施による参加者の増
- ・ 事務局員の雇用 など

若い世代などの新たな
担い手の確保

拠点維持や活動
充実のための資金
が不足

- ・ 柔軟な財政支援の活用
(活動拠点の新設・機能拡充、
新規・拡充事業の実施、ICT
の活用 など)

拠点や活動の充実・
活性化

3 ひろしま LMO の取組例

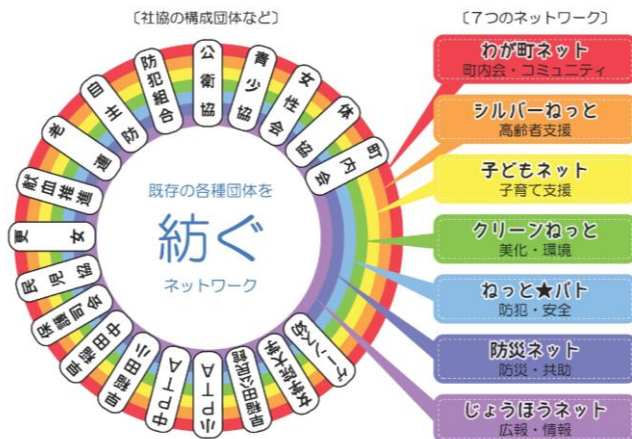
団体や世代の垣根を越えて話し合おう！

団体の垣根を越えた地域課題解決のネットワークづくり

- 各地域団体が連携して地域活動に取り組むための仕組みとして、地域課題のテーマごとにネットワークを構築
- 幅広い年代の住民が自由な発想でアイデアを出し合って課題解決策を企画※ ※ 実施主体は各地域団体
- 話し合いへの参加をきっかけに各種団体で活躍するようになる人も



▲団体や世代の垣根を越えた話し合いの様子



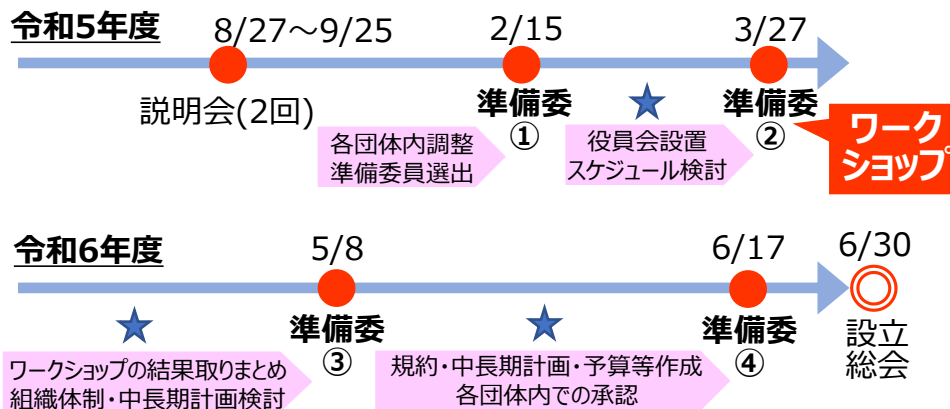
▲ネットワークのイメージ図

3 ひろしま LMO の取組例

地域の課題や将来像を語り合おう！

ひろしまLMO設立に向けたワークショップの開催

- LMOの設立に向けて、各地域団体や企業、社福法人から各1～2名を委員に選出して準備委員会※を設置 ※ コアメンバーによる役員会も設置
- 委員会では、各委員が地域の課題やLMOとして取り組んでみたい活動などを自由に話し合うワークショップを開催
- 関係者の思いが詰まったワークショップの結果をもとにLMOの中長期計画を策定することで、各種団体等が丸となってLMOの取組を推進



★: 準備委員会の開催に向けて随時役員会を開催し詳細を協議(開催実績: 計8回)

▲ 各種団体や企業等が参加した準備委員会でのワークショップ

3 ひろしま LMO の取組例

誰でも気軽に立ち寄れる活動拠点づくり①

活動拠点を中心にした交流促進・地域活動の活性化

- LMO設立に伴い事務所と交流スペースを併設した活動拠点を新設(民間テナント1F)
- 新たに常駐のスタッフを雇用し、各種事務や地域の困りごと相談コーナー等を実施
- 交流スペースは地域住民が気軽に集まれる場とし、地域食堂や各種イベントにも活用
- 活動拠点のパソコンや大型画面は各種地域団体のweb会議等にも活用可



▲活動拠点の開設式



▲事務所(奥)と交流スペース(手前)を併設した拠点

3 ひろしま LMO の取組例

誰でも気軽に立ち寄れる活動拠点づくり②

廃校を活用した新たな活動拠点・にぎわいづくり

- 新たに廃校の一部をひろしま LMO の常設の活動拠点とし、常駐のスタッフを配置して地域住民の親睦や地域団体間の連携を促進
- 廃校を活用して幅広い世代の住民が楽しめるイベントを定期的で開催



▲ 体育館を活用したイベント



▲ 収穫祭(ステージイベントや地元産野菜や加工品などの販売)の様子

3 ひろしま LMO の取組例

LMOが各地域団体の活性化を応援！

構成団体への業務支援を通じた活性化

- 事務局員の雇用をきっかけに、LMO事務局において構成団体の広報活動等の業務支援を開始
- 各町内会等からの依頼に基づき、LMOホームページへの行事案内の掲載、チラシの作成支援などを実施
- 構成団体は、活動拠点に設置した複合機(コピー、プリンター)も使用可で幅広い団体が拠点を活用
- こうした取組を通じて、各種地域団体の負担軽減や行事等の活性化を図る



▲活動拠点の外観



▲構成団体のチラシ作成を行う事務局員



▲LMOが作成支援した町内会行事のチラシ
(LMOのホームページでも周知)

3 ひろしま LMO の取組例

新たなアイデアで地域行事が活性化！

とんど祭り×キッチンカー×遊びブース

- 地域行事への協力者や参加者が減少する中、伝統文化である「とんど祭り」の企画を地域の若い世代に依頼
- 人気のキッチンカーや子ども向けの遊びブースを併設するなどの新たな企画により、親子連れや若者世代も多く参加
- 地域行事のにぎわいが復活するとともに、若い世代にもLMOを知ってもらうきっかけとなり、今後の地域活動への協力者の増加も期待



▲とんど祭りの様子（左側はキッチンカー）



▲これまでにない多くの住民が参加したとんど祭り



▲キッチンカーの行列



▲友達同士で参加した子ども達

3 ひろしま LMO の取組例

地域内連携⇒認知症カフェ×多世代交流！

多世代カフェの開催

- ひろしまLMOの設立をきっかけに、構成団体や地域の有志が連携し、認知症カフェ※に幅広い世代の住民に参加してもらう「多世代カフェ」を開設
- 定期的（月1回程度）に開催し、新たに設置した常設の活動拠点と合わせて、誰でも気軽に立ち寄り相談できる場づくりを推進

※ 認知症カフェ：認知症の方とその家族などが気軽に集い、交流できる場所



▲多世代カフェの様子



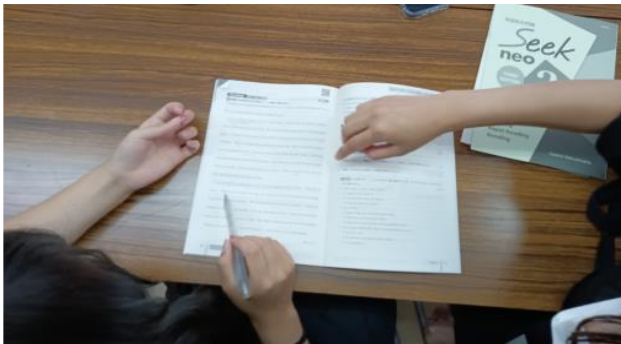
▲活動拠点に多世代カフェの幟(のぼり)を設置

3 ひろしま LMO の取組例

こどもを中心に据えた地域活動の活性化！

こどもの学習支援（学習ひろば）

- ひろしまLMOの設立をきっかけに、構成団体が連携し、小学生～高校生を対象とした宿題等の勉強ができる場を開設
- 地域の有志や学生ボランティアが支援に携わっており、多世代交流ができる居場所になることを期待
- こどもを中心に据えた活動に取り組むことで、その親の世代など若い世代の地域活動への参画も期待



▲学習ひろばの様子①



▲学習ひろばの様子②

3 ひろしま LMO の取組例

気軽に集える拠点で子育て世代の交流の活性化！

活動拠点を活用した子育てオープンスペース

- 事務局員として保育士資格を持った地域の方を雇用
- 0歳～未就学児とその保護者を対象に活動拠点を週2回オープンスペースとして開放
- 地域の親子が気軽に集え、子育て世代の交流ができる居場所になることを期待



▲オープンスペースの様子

子育てオープンスペース

ほっこり広場

令和5年度



子育てをする皆さんと赤ちゃん、子どもたちのゆったりスペースです

気軽に寄ってみてくださいね♪

場所：大芝地区社会福祉協議会エルモ大芝

※自転車でお越しの際は隣の岡本さん宅へ置いてください。

開催日時：毎週火曜日（10:00～12:00）

開催日はHPにて確認をお願いします。



※開設時間内ならいつ来ても自由です。

対象年齢：0歳～未就学児とその保護者

※10組程度のご家族が過ごせる広さなので、

混雑している場合はお断りする場合があります。

❀ お子様から目を離さないでください。貴重品の管理も各自をお願いします。

❀ お菓子やジュースは持ち込まないでください。（お茶はOKです）



大芝地区社会福祉協議会 TEL（082-554-1870）

広島市西区大宮 1-4-8 フェリーチェMT1階

▲オープンスペースのチラシ

3 ひろしま LMO の取組例

連携プレイで高齢者がイキイキ！

送迎付き高齢者交流サロン&スマホ・パソコン教室

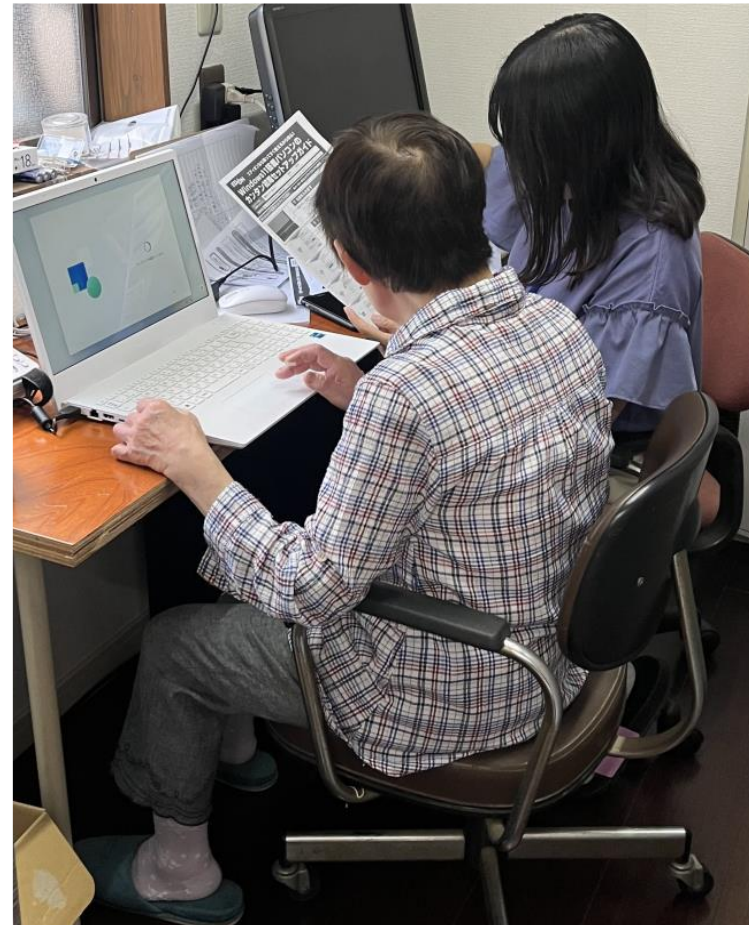
- 高齢者の交流の場として、ひろしま L M O の活動拠点で定期的(月2回)に高齢者交流サロンを開催
- 移動が難しい方を対象に地域の有志が分担して送迎を行うことで、幅広い住民の参加が可能に
- さらに、活動拠点では、常駐する事務局員が住民向けの「スマホ・パソコン相談ルーム」を開設し、毎日様々な住民が来所する活気のある居場所として機能



▲ 高齢者交流サロンの様子



▲ 送迎ボランティアの車に乗車する参加者



▲ スマホ・パソコン相談ルーム(週5日)

3 ひろしま LMO の取組例

地域住民の声から始まった交流の場！

一人暮らしの方（男性）の集い

- 地域で一人暮らしをされている男性の『女性が多い集いの場に、一人で参加するのはハードルがあるが、誰かとおしゃべりできる場所がほしい』との声をきっかけに開設
- ひろしまLMO設立に伴い新たに開設した活動拠点で定期的（月2回）に開催
- 区役所地域支えあい課も参加し、社会との繋がりを維持し、健康に暮らし続けることができる場所として定着

参加者の方の声

『もともと家で一人で過ごすのは好きではないので、このような場があるのはありがたいです！』



▲笑顔でお話されている様子

3 ひろしま LMO の取組例

計画的に災害に強いまちづくりを推進！

防災マップ作成→防災講演会

- 自主防災会連合会を中心に、詳細なハザードマップを作成し、LMOのホームページなどで周知
- マップ作成後には、学区全体でマップを活用した避難訓練を実施
- 次年度には、更なる防災意識向上のため、幅広い世代を対象とした防災講演会を開催するなど、計画的に取組を推進



▲ 気象予報士による防災講話（子どもも参加できるクイズ等あり）



▲ 学区を5つの区域に分けて作成したハザードマップ



▲ 防災講演会でのゲームコーナー



3 ひろしま LMO の取組例

地域で連携して防災意識を向上！

小学校区での防災フェアの開催

- 小学校の参観日に合わせて、小学校で防災訓練と防災フェアを開催
- 専門の講師を招いて防災講演会を開催するとともに、授業参観終了後には、小学生とその家族がフェアに合流
- 各種地域団体や高校、公民館等が連携して様々なブースを出展することで、幅広い世代の住民が参加



▲専門の講師による防災講演会



▲VRを活用した被災体験（豪雨、地震）



▲高校生による危険度調査の展示・解説

3 ひろしま LMO の取組例

地域で一丸！防犯パトロール！

青色防犯パトロール隊の結成

- ひろしまLMOの設立をきっかけに、子ども達の見守りを強化するため、構成団体、住民有志等による防犯パトロール隊を結成
- 30人以上の協力者が集まり、平日の下校時間帯を中心にパトロールをローテーションで実施
- ひろしまLMOがパトロール用の車両を確保(リース)することで協力者の負担軽減を図り、若い世代の参画にも期待



▲パトロール協力者の皆さん



▲青色防犯パトロール隊出発式の様子



▲青色回転灯を装備したパトロール用のリース車両

3 ひろしま LMO の取組例

大学と連携して地域課題の解決へ！

地域課題把握のための全世帯アンケート

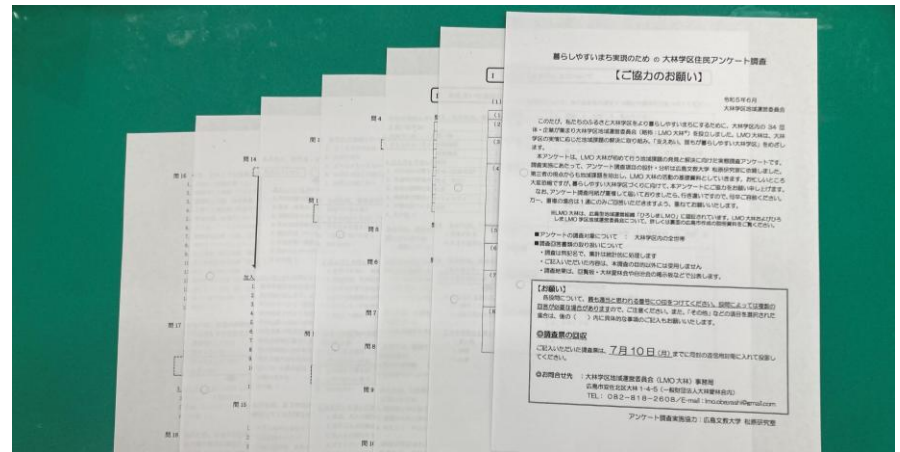
- 区内の大学とともに学区の全世帯を対象とした地域課題等を把握するためのアンケート調査を実施
- 大学がデータ分析や報告書作成に協力、各自治会や学区内に社員寮を有する企業が調査票配布に協力
- 調査結果は今後の地域活動に反映予定
- 地域と大学や学生との関係づくりを深めることで、様々な地域活動への若者の参画も促進



▲大学での分析結果の報告



▲大学生が地域行事に参加



▲アンケート調査票

3 ひろしま LMO の取組例

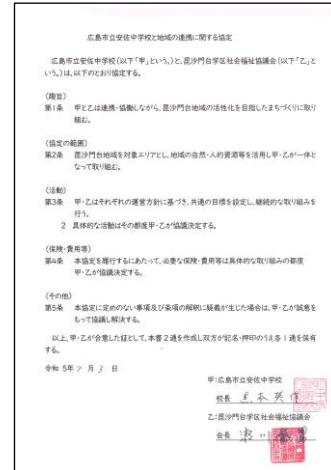
学校との連携で地域を活性化！

地域内の学校と連携協定を締結

- 学区内にある小・中・高校とまちづくりに向けた連携協定を締結
- 児童・生徒が地域の活動に参加したり、授業の一環で地域について学習し、地域課題解決策を研究・提案するなど様々な活動を実施
- 若い世代の発想力・行動力を活かして地域の活性化を図るとともに、地域への愛着を醸成



▲連携協定を締結



▲中・高生が地域行事へ参加



▲高校での地域課題発見・解決学習の発表会

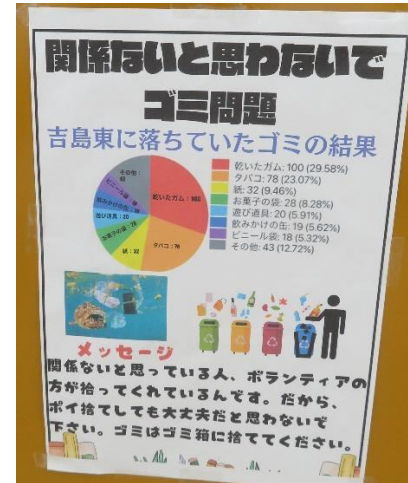


3 ひろしま LMO の取組例

小・中学生も地域行事の担い手に！

小・中学生も担い手となる祭りの開催

- 地域の祭りで、こども園、小・中学校のクラブによる活動発表や、小学校の「総合の学習の時間」の授業の成果の展示・発表を実施
- 中学校放送部がステージ発表の司会を担当
小・中学生ボランティアが担当するブースもあり、小・中学生も地域行事の担い手として活躍
- こどもの頃から地域行事の担い手として参加することで、将来の地域活動の担い手としても期待



▲「総合の学習の時間」の成果展示(祭り会場にて)▲



▲小学生ブース(ゲームコーナー)



▲「総合の学習の時間」の成果発表(ステージ発表)

「総合の学習の時間」のテーマ
～地域のいいところ・課題、
どうしたらいいか考えたこと～

3 ひろしま LMO の取組例

ICTを活用して地域課題を解決①

ICT※を活用した健康体操

- コロナ禍で地域内の交流が制限されたことをきっかけに、地域住民の健康維持や交流機会をつくるため、オンラインでの健康体操を検討
- 市内の大学や地域関係者と連携して、集会所のネットワーク環境を整備し、スマートフォンやタブレット端末への配信による健康体操を試験実施
- 高齢者だけでなく、地域全体でICTを活用できるようになることで、地域の活性化につながることを期待

※ ICT：インフォメーション・アンド・コミュニケーションテクノロジーの略。
情報通信技術。



▲オンラインで健康体操を行う様子①



▲ICTツールの利用方法を確認する様子



▲オンラインで健康体操を行う様子②

3 ひろしま LMO の取組例

ICTを活用して地域課題を解決②

ICTを活用した高齢者見守り

- 地域内の高齢者・独居者の見守りを行うためのシステム（アプリ）を導入
- 災害時の安否確認・情報共有を行うだけでなく、地域の行事など各種情報発信やアンケートにも活用
- 高齢者・独居者が安心して生活できる環境を整備するとともに、支援者側の負担軽減も期待



▲アプリの利用方法について確認する様子



▲アプリの利用画面

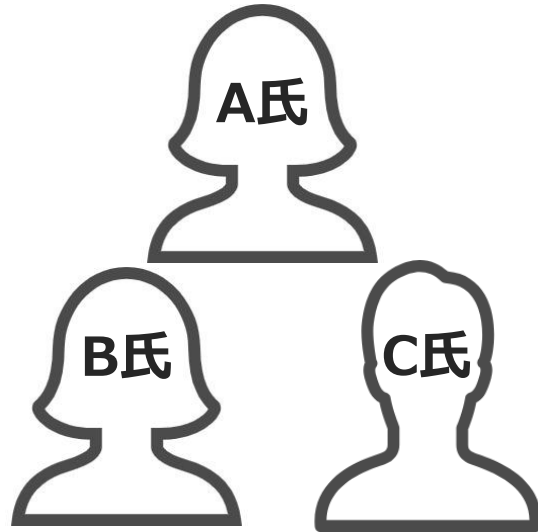
3 ひろしま LMO の取組例

ひろしまLMOの様々な取組

- 地域課題解決に向けた中長期的計画（プラン）策定
- HPやSNS、広報紙を活用した各種地域活動の周知
- 活動拠点での地域住民からの相談の受け止め
- 地域の大学生を講師としたスマホ教室
- 高齢者や子どもの見守り、居場所づくり、交流事業等
- 高齢者等の地域内での移動に関する支援策の検討
- コロナ禍以降取り止めていた敬老会の開催
- 子育て中の親への支援事業（子どもの一時預かり、制服バザー）
- 地域猫活動
- 防災マップ作成、防災キャンプ、各町内会合同の防災訓練
- 夏祭り、スポーツ体験会などの多世代交流行事
- 地域資源を活かした地域の魅力づくり（休耕田を活用したオリジナル酒づくり）
- 地域のイメージキャラクターの活用 など

3 ひろしま LMO の取組例

地域の新たな担い手：LMO事務局員の雇用事例①



<主な勤務状況>

勤務時間 9:00～17:00の内、5～6時間勤務
(休憩1時間)、シフト制
勤務日数 1人当たりの月平均13日
賃 金 時給制

<特記事項>

- ・これまで団体の活動には関わっていなかった若い世代へ声掛け
- ・経理・労務事務・SNSでの情報発信に長けた方

<LMO役員の声>

- ・今までボランティアで手伝ってくれていた方には事務を頼みづらかったが、雇用することで業務として事務を任せることができるようになった。
- ・事務局員による新たなアイデアや事務局員のつながりによる新たな地域活動の参加者の発掘が期待できる。

3 ひろしま LMO の取組例

地域の新たな担い手：LMO事務局員の雇用事例②

<主な勤務状況>



勤務時間 10:00～15:00（休憩なし）

勤務日数 D氏：週2日（火・木）

E氏：週3日（月・水・金）

賃金 時給制

<特記事項>

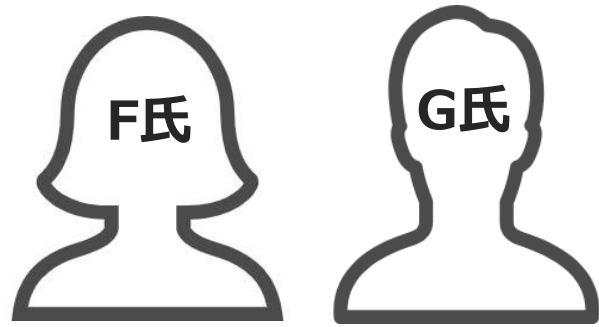
- ・元々、地域団体に関わっていた方へ声掛け
- ・パソコン操作、経理事務等に長けた方

<LMO役員の声>

雇用によって、**役員の事務負担が軽減**した。事務局員がいることで役員が交代する際にもスムーズに事務を引き継ぐことができる。

3 ひろしま LMO の取組例

地域の新たな担い手：LMO事務局員の雇用事例③



<主な勤務状況>

勤務時間 9:00～17:00の内、平均3時間程度
(休憩なし)、シフト制
勤務日数 1人当たりの月平均18日
賃 金 月給制

<特記事項>

- ・ひろしまLMOの立上げから関わっていたA団体の元役員とB団体の事務局長がシフト制で事務局を担当
- ・月給制を導入

<LMO役員の声>

- ・地域団体の事情がよく分かっている事務局員がいることで、**各種団体から気軽に相談**してもらえるようになった。
- ・事務局員側としても、給料をもらっているという責任感があるため、集中して業務を行うことができるようになった。